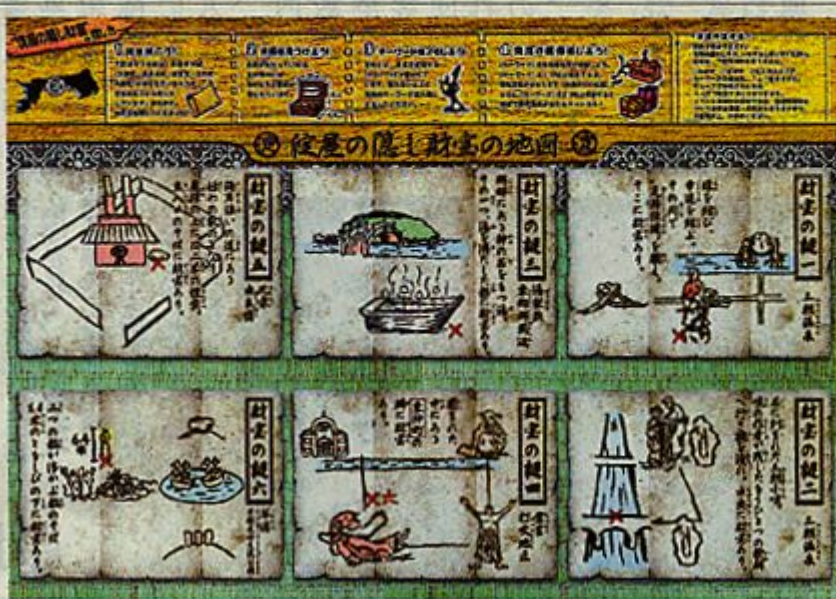


# 豪商「淀屋」の「隠し財宝」探せ!

## ゲーム感覚の観光イベント

### 鳥取県中部で来月1日から



「淀屋」の財宝発見の手掛かりとなる参加チラシ

江戸時代の大坂の豪商「淀屋」の「隠し財宝」を探し出せ。地域を丸ごとゲーム盤に見立て、鳥取県中部1市4町を舞台に謎解きを楽しむ一風変わった観光イベントが10月1日からスタートする。県内外の個人旅行者を県中部に誘い込む新たな手法として注目される。

「幕末財宝伝説 謎解き宝探しゲーム in 鳥取」と銘打った観光イベント。大名をしのぐ財力と影響力を誇り、幕府が取り潰しにした「淀屋」を再興した倉吉の牧田仁右衛門、後の「淀屋清兵衛」の財宝が県中部に隠されている、との設定で

観光地を巡る。

隠し財宝を探す手掛かりは、古文書風の地図(参加チラシ)。「囲まれた中にある東仲町の碑に財宝あり」(倉吉市)、「二つの船が浮かぶ船のそば、6・4米の灯の下に財宝あり」(琴浦町)などの暗号を解き、財宝の在りかそこそこに記されて

いるキーワードを見つけて。ゲーム感覚で観光客に地域の魅力を発見してもらおうのが狙いだ。

宝探しゲームでは、iPhoneのアプリ

ケーションを活用した県の「鳥取AirMap(エアマップ)」でもヒントを得ることができる。

このイベントは12月20日まで繰り広げられ、参加チラシは県中部の観光案内所、ロー

ソン、宿泊施設などで入手できる。財宝の発見者にはオリジナル缶バッジのほか、抽選でノートパソコンやカーナビなどが当たる特典もある。

ゲーム感覚の周遊型観光は県中部が初の試み。企画した県観光振興課は「観光客自らの手で魅力を探してもらうことで、観光のマーケットが広がる」と参加者の反応を楽しみにする。